

関西支部シニア会活動報告

行事名	2023 年度 (第 17 回) シニア会と学生会の交流会
開催日時	2023 年 10 月 14 日 (土) 14 時 30 分から 18 時 30 分
場所	大阪工業大学 大宮キャンパス 6 号館 4 階 641 教室から 644 教室
参加人数	60 名 (シニア会 6 名、学生 51 名、教員ほか 3 名)
行程	<p>今回の交流会は、「シニア会と学生会との討論会～次世代技術を支える機械工学～」とのテーマを掲げて開催。</p> <p>久保司郎シニア会会長の開会挨拶に続いてシニア会会員の仲津英治氏の基調講演「自然に学んだ 500 系新幹線」とシニア会会員 4 名 (久保司郎氏、柳生壽美夫氏、兼森祐治氏、赤対秀明氏) による自己紹介を兼ねた提言があった。学生会からは土田昇平君 (大阪公立大学)、能勢剛史君 (龍谷大学)、黒崎智君 (大阪大学) の提言があった。</p> <p>休憩を挟んで 4 グループに分かれてグループ別自由討論会と懇談会 (弁当付き) が行われ、総括として、各グループの代表学生諸君から討論内容の報告があった。最後に学生会幹事長の上辻靖智先生による締めの挨拶と記念撮影があり閉会した。</p>
感想	<p>昨年度に続き対面での交流会が開催され活発な議論が行われた。</p> <p>基調講演では日本野鳥の会会員でもある仲津氏から、新幹線の高速走行で問題となる騒音対策において野鳥に学んだ事例が紹介された。高速域で一番課題となる集電系の騒音では、フクロウの風切羽根の前縁にある細かい突起 (セレーション) が大きな渦の発生を抑え、フクロウが静かに飛べることを教わり、T 型パンタグラフ支柱の側面に小さな突起物を多数配置する対策を行った。またトンネル出口で生じる騒音に対しては、列車の先頭形状の模型を各種製作し、模型トンネルの中で一番圧力波を出さない形状模型を選び出した。それは波をたてずに空中から水中に突入するカワセミの嘴から頭部にかけての体形に極めて近似したのである。結果、衝撃音の低減に成功した。また、学生の提言では趣味や研究テーマのほか、思い通りにならなかった時のモチベーションの持ち方、企業に入って一番苦労したこと、大学での研究がものづくりの現場でどう生かされたかなどシニア会会員に聞きたいことが率直に述べられた。</p> <p>4 部屋に分かれて行われたグループ別討論会では自由な雰囲気の中で食事をとりながら意見交換が行われた。全体での総括では各グループの代表学生から、シニア会員からの提言や学生がシニア会員に聞きたい話題等について活発な討論が行われたとの報告があった。</p>

グループ別討論会の様子

